

委員会の動き

議会には3つの常任委員会のほか、議会運営委員会、広報特別委員会が設置されています。ここでは、常任委員会の活動内容を紹介します。

総務 文教

庁舎工事の進捗率51% 令和2年末の完工予定

6月3日、長流枝公民館スカッシュコート、ひばりが丘緑地パークゴルフ場及び音更町役場庁舎増築工事の進捗について現地調査を行った。長流枝公民館は昭和39年に建設された旧長流枝小学校で築後

55年が経過しており、移動可能な折りたたみ式スカッシュコートはこの体育館内に設置されている。施設の老朽化に伴いコートの移転が望まれるが、移転先施設の見通しは立っておらず、委員からは競技人口増を望む意見と共に廃校等への移転の可否について議論された。

ひばりが丘P.G.場 小獣対策等を視察

ひばりが丘緑地パークゴルフ場は、きつね被害が発生している。侵入防止や箱罠設置等の対策は行っているが、更なる手立てが求められる。また健康増進法の改正により、あずまやでの喫煙は不可となり、敷地内は禁煙となる報告がなされた。

経済 建設

役場庁舎の増築工事は、平成30年6月の着工から順調に推移し、令和元年7月中旬に執行の一部が移転する。既存庁舎の改修を含めた工事進捗率は約51%で、今後既存庁舎の改修工事も進められ、2年末の完工を目指す。現地調査後の委員会

6月4日、音更町農協の豆類貯留調製施設・低温貯蔵施設の現地調査を行った。稼働時期ではなかったため、施設内を全て見る事ができ、詳しい説明があった。貯蔵施設の中には、適正な温度管理のもと、大量の大豆が格納されていた。産地間



町の課題を現地で確認（ひばりが丘P.G.場）

JA音更の豆類施設 本町産大豆は好評価

では、第2回定例会提出予定案件の音更町税条例等の一部改正や、令和元年度補正予算の概要などの説明を受けた。

競争が進む中、本町産大豆は施設稼働後、好評価されており貯蔵中の全ての商品の出荷先が決まっているとのことであった。

無電柱化の現状 車道歩道幅の検証

国道241号事故対策及び無電柱化の進捗状況や、今後の事業予定について説明を受けた。まず、無電柱化の工事状況を車中から確認。木野支所で下車後、実際の車道はどこまでなのか、歩道もどの辺りまでなのかの具体的な説明を含め、令和元年度中予定の工事の概要を聞いた。



音更町産大豆を管理（豆類貯留施設）

現地調査後、委員会を開き、委員からは音更町農協の施設については、本町の豆が好評価を受け、生産者にもきちんと還元されていることに感銘を受けた。国道241号の事業については、現場に立ち、具体的説明を聞き、より深く認識できた。最近多い歩道上の事故防止のため、車が乗り上げられないような道路改良工事の視点での議論も必要では、という意見があった。ほか、令和元年第2回定例会の提出案件の説明を受けた。

民生

移転改築予定の晩成園 現施設の問題点が解消

6月5日、社会福祉法人音更晩成園と、もゝるの森こども園の現地調査を行った。

晩成園の支援方針は、知的障がい者への総合的な福祉サービスの提供を目指し生活・作業・医療・就労等、可能な限り地域の中で生活して行けるようにすること。

現在の建物は、築後32年を経過し老朽化が

著しく、令和元年度中に敷地内移転改築される。新施設では、入所と通所が一緒に生活リズムが異なる問題や多床室の問題点等が解消される施設になる。委員からは、改築計画の順調な進捗に期待する意見などが出された。

地域密着の園に 働くママを応援

もゝるの森こども園は、十勝川温泉従業員住宅だった建物を、第一ホテルが取得し全面改修を行った。この施設は、企業が従業員と

地域のために設置する企業主導型保育園で、平成30年4月に開園した。認可外保育施設（定員19名）として、サービス業や、多種多様な分野で頑張るママのために子どもをお預かりしている。

特徴は、お昼休みにスキップや、仕事帰りに親子でモール温泉を利用することも可能。給食は、子ども食専門の栄養士へメニューを委託。委員からは、町の施設の再利用について参考になったなどの意見があった。



施設の課題について説明を受ける（晩成学園）